

S.C.WORKS 今週のスタディ！

【ヘッドライン】

- 1) 「大丸心齋橋店で地元小学生が職場体験」
- 2) 「シーパラダイス、“海水冷房”で20%省エネ」
- 3) 「眼痛リスクを低減する、注目成分ルテイン」

---

1) 「大丸心齋橋店で地元小学生が職場体験」

大丸心齋橋店で8月2日、地元小学生が参加し、職場体験学習が行われた。体験学習は、毎年夏休みに大阪市立南小学校の5・6年生の児童を対象に行われている恒例行事で、今年は22人が参加した。接客、販売、案内係など店内の12カ所に配属された児童たちは、各売り場のスタッフから手ほどきを受け、店頭に立った。本館地下1階のベーカリー売り場「ポール・ボキューズ」では、「あったらいいな こんなパン」をテーマに、児童が考案したオリジナルパンを販売した。新幹線をイメージしたパン「夢の超特急」（189円）を考案した5年生の高畑天則さんは「自分の考えたパンが選ばれてとてもうれしい。売り場に立つことで、売っている人の気持ちが分かった」と話す。同売り場では8月13日まで、「大丸パン」（168円）、「たこやきあんぱん」（210円）など児童が考案した6種類のパンを販売する。本館1階の婦人洋品売り場では、レジカウンターに2人が配属。来店客と言葉を交わすなどの場面も見られた。

子どもたちにとっては楽しく貴重な体験になるだろうし、店側にとってもお客さんへのアピールにつながると思う。また買物に訪れたお客さんも小さい店員さんを見て優しい気持ちになるのではないかな。家族がその様子を見て成長を実感することもできると思うし、このような職業体験の場はコミュニケーションの場としても大きな役割を果たしそうだ。

---

2) 「シーパラダイス、“海水冷房”で20%省エネ」

水族館や遊園地などが入る横浜・八景島シーパラダイスは4月、水族館にある一部の空調設備を更新した。海水を熱源に利用する珍しいもの。従来の空調と比べて電力使用量を約20%減らせるという。シーパラダイスを運営する横浜八景島は、温室効果ガス削減と経済活性化を進める横浜市「横浜グリーンバレー構想」に参画。省エネや生態系保全に取り組んでいる。同市と東京海洋大学との共同事業として、海水熱を利用する空調を導入したのもその一環である。今年、開業20周年を迎え、ちょうど設備の更新時期に差し掛かっていたところだった。通常の空調は、大気と熱交換することで室内に冷たい空気や暖かい空気を送る。シーパラダイスが採用したものは、大気の代わりに海水と熱交換する。海水の温度は1年を通じて10-17℃で安定している。大気と比べて、夏は冷たく、冬は暖かい。冷やしたり暖めたりするのに必要なエネルギーが少なく済むため、省エネになる。

東日本大震災以降、原子力発電所の停止によって慢性的な電力不足が続き、シーパラダイスも2年前、苦い経験をした。日中の最大使用電力を削減する政府のピークカット要請を受けて、自家発電機をリースするためにかかった費用は約2000万円。社会的責任を果たすため

とはいえ、負担は決して小さくはなかった。省エネ性の高い海水熱利用空調が、夏場のピークカットに貢献してくれるとの期待もある。

今回の設備投資額は650万円。内閣府の「環境未来都市先導的モデル事業」に採択されており、投資額の半分を補助金で賄っている。電気代や保守費用の削減などによって4-5年で回収できる見込みである。

横浜八景島管理部（施設担当）の市ヶ谷公正リーダーは、「成果が出れば、物販・飲食店が集まるバイマーケットやホテルなど、設備更新が必要な他の所にも展開していきたい」と話す。

海上に浮かぶ施設ならではの方法で、地域・環境に合わせた省エネの取組の良い例だと思う。エネルギーをつくり出すもので一番に浮かぶのは太陽光だが、廃棄の問題なども言われているので様々な方法を模索することはとても重要だと思う。地熱、排熱などいろいろなところで実験が行われているが、一つのものに頼らなくても大丈夫ということが今の日本には必要だと思う。

---

### 3) 「眼痛リスクを低減する、注目成分ルテイン」

米国立健康研究所は7月末、サプリメントを用いた眼病の予防効果に関する研究の結果を公表した。

同研究は、米国82医療機関が参加し、50-85歳の4千人以上を対象に2006年から5年間ヒト介入試験を実施したもの。

研究の結果、食事由来のルテインやゼアキサンチン摂取が乏しい群では、ルテイン・ゼアキサンチン含有サプリメントで、加齢性黄斑変性（AMD）の進行を26%抑制することが確認された。

さらに、重症白内障のリスクを36%減少させ、白内障手術までの進行を32%減少させることも明らかとなった。

AMDは進行すると視力の著しい低下を招き、失明につながる疾患だ。

米国では200万人が罹患しており、800万人がリスク保有者。さらに2,440万人が白内障を罹患しているとの統計もある。

上記の研究結果で科学的に証明されたルテイン。

以前からサプリメントなどで販売はされていたが、このたびブルボンから同成分を配合した「ルテインPCガム」が発売された。

パソコンディスプレイやLED液晶テレビでブルーライトを受ける量が増加している現代社会に、手軽なルテインの摂取と咀嚼による集中力向上を目的とした粒ガム形状で、オフィスでのビジネスタイムにも利用しやすい。

※ルテインは、天然に存在するカロテノイドの一種で緑黄色野菜に多く含まれている。人の体内では、眼の黄斑部や水晶体、皮膚、乳房組織などに存在するが、体内では合成することが出来ない成分だ。

ブルベリーなどに含まれているアントシアニンなどはCMなどでも目にするが、ルテインと言う成分は知らなかった。健康に対する意識が高い人はもう知っているかもしれないが、知らない人もまだまだ居ると思うので眠っている需要はあると思う。これから耳にする機会が増えてくるかもしれないのでチェックしておこうと思った。手軽に健康に良い成分を摂取できる商品が増えてくれるとありがたい。